

学校生活対応マニュアル ～ 1日の流れ ～



朝	<p>○欠席連絡</p> <p>* リーバーによる欠席連絡の確認（7：30以降）</p> <p>* 放課後:担任→欠席者に連絡し、体調を確認し、受診結果を聴取し、記録する。</p>
登校	<p>○教室に入る前に手指消毒を行う。</p> <p>○換気：教室のドアや窓を閉めきりにせず、常時少し開けておく【2方向以上】</p> <p>◆提出物は、係が集めず、一人一人が提出場所に提出する。その場合、他の児童との接触を避け、他の提出物に触らないようにするとともに、他の児童と接触しないようにする。</p>
朝の会	<p>○リーバーの入力状況を確認する 【検温及び風邪症状の確認】</p> <p>* 未提出や印漏れの場合：各学級で検温及び風邪症状の確認 （教室の体温計で検温 37℃以上の場合は保健室で再度検温 37.5℃以上で早退）</p> <p>* 健康観察後、体調不良者は、無理をさせず、早退の連絡をする。</p> <p>* マスクがない児童には、職員室にもらいに行き、教室では着用を徹底させる。</p> <p>* 遅刻してきた児童の検温も徹底する</p> <p>* 風邪症状等があって登校した場合：検温のため保健室へ 体調の状況によっては、保護者に連絡し早退（管理職に相談）</p>
授業 （特別教室利用 時も含む）	<p>○机（隣同士）や椅子を離す。</p> <p>○換気：教室のドアや窓を閉めきりにせず常時少し開けておく。【2方向以上】</p> <p>○対話の際は、できる限り1m以上離れる。教員等の個別指導、机間指導は児童とできるだけ距離を置き。</p> <p>◆特別教室におけるテーブル席においては隣の児童とできる限り間隔を置き、体育用具・実験器具・調理機具・製作用具等共有物を使用する場合は、事前・事後に手洗いを入念に行う。</p> <p>◆鉛筆や消しゴム等の児童間の貸し借りは行わない。</p>
休み時間	<p>換気：教室のドアを開けて空気の入替えを行う。【対角線上に開けると効果的】</p> <p>対話の際は、できる限り1m以上離れ、遊びにおいては接触を避ける遊びとする。</p> <p>トイレ、外遊び後は、ていねいに手を洗う（30秒以上）。</p>
給食	<p>活動前に、ていねいな手洗い（30秒以上）及び手指消毒を行う。</p> <p>当番は、給食着を着用する。（着用後手指消毒）</p> <p>体調がすぐれない場合には当番を交代する。</p> <p>自分で配膳する。</p> <p>給食は全員が前向きで食べる。</p> <p>大きな声で話さない。</p>
昼休み	<p>換気：教室のドアを開けて空気の入替えを行う。【対角線上に開けると効果的】</p> <p>対話の際は、できる限り1m以上離れ、遊びにおいては接触を避ける遊びとする。</p> <p>トイレ・外遊び後はうがいをし、ていねいに手を洗う（30秒以上）。</p>
清掃	<p>清掃時は黙ってそうじをする。</p> <p>清掃後はていねいに手を洗う（30秒以上）。</p>
帰りの会	<p>換気：教室のドアや窓を閉めきりにせず、常時少し開けておく【2方向以上】</p>
放課後	<p>教室のスイッチ、ドア取っ手付近、スイッチなど児童がよく触れる場所を消毒(1日1回)</p>

* 校内での健康観察 体調不良を訴える児童は、検温する。

⇒教頭へ報告。

【健康観察のポイント】

①37.5℃以上の発熱（顔色が赤い・青ざめている） ②咳が出ている、息苦しい

③だるさ ④腹痛、下痢、吐き気、嘔吐

* その他

手洗い・うがいは、30秒以上を基本とし、声に出してカウントするよう具体的な指導で徹底する。

基本的な生活習慣（食事・睡眠・運動）により免疫力を高める。